



トップリスク2022および2031に関する エグゼクティブの視点

プロティビティ・ノースカロライナ州立大学による最新のグローバル調査結果からの取締役役会や経営幹部が議論する重要な課題

100年に一度と言われるパンデミックに端を発した課題は存在し続け、経営者は、さまざまな不確実性が、管理すべきリスクの抗しがたい状況を引き起こしていることを思い知らされています。急速に進歩するデジタル社会における革新的イノベーションと技術開発の急速なペースを考慮すると、予期せぬことが起こったときに要となるレジリエンスとアジリティの必要性は、かつてないほど高くなっています。

2022年のリスク トップ10	2031年のリスク トップ10
1. パンデミック関連の政府の政策や規制による業績への影響	1. デジタル技術導入に当たり、既存従業員のスキル向上・再訓練に必要な多大な労力
2. 後継者問題とトップ人材の確保と引き留め	2. 後継者問題とトップ人材の確保と引き留め
3. パンデミック関連のマーケット状況が及ぼす顧客需要の減少	3. 革新的イノベーションの急激なスピードに自己の競争力が追い付けない
4. デジタル技術導入に当たり、既存従業員のスキル向上・再訓練に必要な多大な労力	4. 代替製品やサービスがもたらす会社のビジネスモデルへの影響
5. インフレ圧力を含む経済状況が及ぼす成長機会への制約	5. インフレ圧力を含む経済状況が及ぼす成長機会への制約
6. 労働コストの上昇がもたらす利益目標への影響	6. 新たな競合の参入や他の業界の変化が市場シェアを脅かす
7. オペレーションやビジネスモデルを変えることに対する抵抗	7. 規制変化・執行強化が組織の対応能力、製品・サービスに与える影響
8. 市場情報分析 (market intelligence) の獲得や生産性・効率性の向上のための、データ解析やビッグデータを使う能力の欠如	8. オペレーションやビジネスモデルを変えることに対する抵抗
9. サイバー攻撃の脅威	9. ハイブリッドな労働環境と仕事の内容の変化が競争力に影響を与える
10. 社会的課題やDEI (Diversity, Equity and Inclusion) に対する期待の変化が組織の対応を上回る	10. 市場情報分析 (market intelligence) の獲得や生産性・効率性の向上のための、データ解析やビッグデータを使う能力の欠如

この結果は、全世界の1,453名の取締役役会メンバーおよび経営幹部を対象とした調査に基づいています。調査報告書「Executive Perspectives on Top Risks」の全文は、erm.ncsu.eduまたはprotiviti.com/toprisksでご覧いただけます。また、回答者の役職、組織の規模、産業、地域などのカテゴリー別に、結果を詳細に分析しています。

調査の主なハイライト

1. 人と文化が最重要課題です。雇用市場は崩壊しており、経営者は人材や労働力の確保や引留めに頭を悩ませています。DEIの重要性が上昇しています。将来の働き方は今後10年においてもビジネス上の課題として在り続けるでしょう。ほとんどのESG事項が高いレートとなっています。

2. パンデミックへの懸念は、短期的には引き続き残ります。COVID-19の亜種や、十分な人数にワクチンを接種することができず、世界的にワクチンのクリティカルマスを達成できなかったことが、パンデミックを持続させ、回復への取り組みを妨げ、経済成長の意欲を削いでいます。

3. 準備を怠りなく！破壊的で不安定な10年が待ち受けています。革新的イノベーションのスピード、代替製品・サービスの脅威、顧客ロイヤルティの低下、業界への新規参入のしやすさなどは、10年後を見据えた場合のトップリスクであり、人材、職場・組織文化、経済などに関するリスクと並びます。

4. 経済の不確実性は依然として大きく、その長期的な影響は増大しています。パンデミックの長引く影響、労働市場の逼迫、インフレが一過性のものか構造的なものかの議論、エネルギーコスト上昇の影響、サプライチェーンの目詰まりや崩壊の影響などにより、経済に対する展望が厳しくなっています。

5. サイバーセキュリティとデータプライバシーは、規制上の問題と同様に、長期的な懸念事項として在り続けます。規制の進展によりプライバシーの重要性が増しています。これにより、どのようなデータを取得し、そのデータをどのように保存し、使用し、保護するか決定に際して、組織にとって長期的な戦略的関心事となる可能性があります。